

取扱説明書

ハンドパレット

(ブレーキ付き) 共通

この度は、KIKAIYA「ハンドパレット」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく安全にご使用ください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。

(共通説明書となりますので実際の商品とは画像が異なる場合がございます)



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3
(MAIL) info@kikaiya.com

KIKAIYA
TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

「ご注意」

適切な取り扱いで本機の性能を十分発揮させ安全な作業をしていただく為、ご使用前に必ず本書を最後までよく読み確実に理解してからご使用ください。

本機を本来の使用用途以外の目的では使わないでください。(本製品の改造はしないでください)

本書はお使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

本書は(ハンドパレット/ブレーキ付)共通説明書となりますので、実際の商品と画像が異なる場合がございます。改良の為、予告なく製品仕様を変更する場合がございます。

■開封時

※開封したらすぐに中身(動作)を確認してください。

※属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して動作確認をしてください。

※材料及び仕様は予告なく変更される場合があります

■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。




■注意事項

- ハンドパレットを使う人は要領を熟知した人のみ作業してください。
- 通常荷物を乗せて移動する時はコントロールレバーをニュートラルにしてください。
 - ✓ ハンドルに余分な力がかからずスムーズな作業が行えます。
 - ✓ ピストンロッドに負担がかからずシャフトシールの寿命を延ばします。
- ハンドパレットのフォークや車輪・ジャッキ部・コントロールレバー・ブレーキレバーなどに異常がないかよく確認してから使用してください。異常が有る状態で使用を続けると思わぬ事故が起こる危険があります。
- ハンドパレットはスロープの上で使わないでください。
- ハンドパレットを水平でない場所に置くと勝手に動き出す可能性があります。人や物にあたって大変危険ですので注意してください。
- ハンドパレットに人を乗せて移動させないでください。
- ハンドパレットを停止する場合は必ず「ブレーキ」をしてください。
- 作業者は必ず安全靴や手袋・適切な作業着を着用してから作業してください。
- 本体の下に(手・指・足等)は絶対に入れないでください。
- 荷物を移動させる時には回りに人を近づけないでください。
- 荷物を乗せる時はパレットの片側・先端などに偏った載せ方をすると、正しく軽量する事ができません。また、荷崩れの原因にもなり非常に危険です。必ずバランスと重心をよく考えて乗せてください。
- 能力以上の荷物を乗せないでください、故障の原因になります。
- 段差を乗り越える時は荷崩れなどに注意してください。
- 清潔で湿気のない場所で保管してください。

「使用方法」(基本操作/ブレーキ操作)

■使用方法(ハンドパレット) ※機種によりハンドル操作の名称や形状が異なる場合があります

【コントロールレバー】 *ハンドパレットの基本的な操作をする際に使用するレバーとなります


レバー位置	名称	動作	
(上)	LOWER	フォークを下げる時	
(中)	DRIVE	フォークを固定する時	
(下)	RAISE	フォークを上げる時	

【上昇】

1. コントロールレバーを下(RAISE)に押し下げます。
2. ハンドルをポンピングするとフォークは少しずつ上昇します。

【下降】

1. コントロールレバーを上(LOWER)に引き上げます。
2. 油圧が抜けてフォークが下に下がります。
3. レバーを少しだけ握るとゆっくりと下がります。

 ハンドル下にある足踏みペダルでも、フォークを下降させる事ができます。
(機種によっては対応していない物もあります)



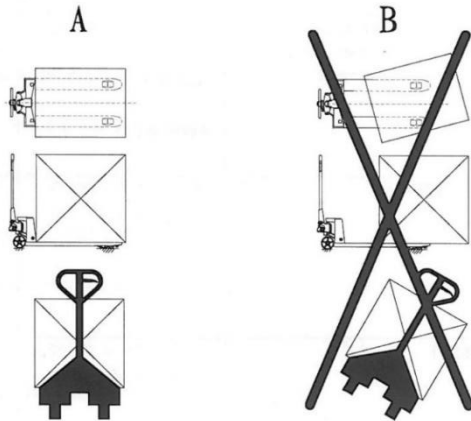
【荷物の移動】

1. コントロールレバーを中(DRIVE)の位置にセットします。

※ 荷物を移動させる時はフォーク全体に荷重を受ける様にセット(荷積み)してください。

※ 一点で大きな荷重を受けるとフォークが曲がったり、変形する可能性があります。

※ 使い終わったら荷物をフォークに載せたままにしないでください。



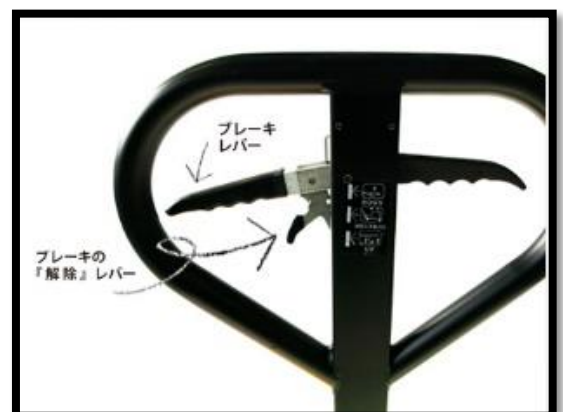
【ブレーキシステム】 *ブレーキを作動させて本体をロックする事ができます

レバー位置	動作
(上)	ブレーキシステム 作動
(下)	ブレーキシステム 解除

※機種によりハンドル操作の名称や形状が異なる場合があります

【ブレーキ作動】

1. ブレーキレバーを一番上に持ち上げる
2. フォークの上昇/下降はコントロールレバーを確認してください。



【ブレーキ解除】

1. 『ブレーキ解除レバー』を握りながら、ブレーキレバーを一番下まで下げる
2. フォークの上昇/下降はコントロールレバーでおこなってください。

「トラブルシューティング」

症 状	問 題	解 決 方 法
フォークが最高位まで上昇しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 作動油の不足 	✓ 作動油の補充をする
フォークが上昇しない 上昇しても下がる	<ul style="list-style-type: none"> ● 作動油に不純物が混入している ● 作動油の不足 	✓ 作動油の交換・補充をする
	● チェックバルブ／リリースバルブの不良	✓ チェックバルブ・リリースバルブを分解清掃する
	● コントロールレバーの位置が悪い	✓ コントロールレバー／リリースバルブを調整する
	● エアーを噛んでいる	✓ エアー抜きをする
フォークが下がらない	● フォークの変形や曲がりがある	✓ 修理をする
	● 偏荷重・重量オーバー	✓ 偏荷重を直す
	● コントロールレバーの位置が悪い	✓ コントロールレバーの位置を調整する
オイル漏れ	● オイルシール／その他パーツの不良	✓ 交換する
自然降下	● リリーフバルブ／チェック弁の不良	✓ リリーフバルブ／チェック弁を分解清掃する
	● エアーを噛んでいる	✓ エアー抜きをする
	● シリンダーパッキンの不良	✓ パッキンを交換する
ブレーキが弱い ブレーキが強い	● ブレーキワイヤー 張りの不具合	✓ ハンドル側ネジにてブレーキ強弱の調整をする（P5 を参照）

「メンテナンス」

■エア抜き



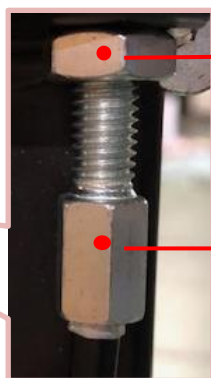
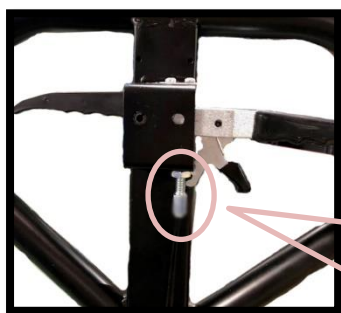
※ ハンドパレットは輸送や分解の際、ジャッキにエアを噛む事があります。

※ エアを抜く場合は次の要領を行ってください。

1. コントロールレバーは下降にした状態のままでハンドルを 10 回程ポンプアップします。
2. 次にコントロールレバーを上昇にしてポンプアップします。
3. エアが抜けるとフォークは上昇しますがもし上昇しない場合は上記の方法を数回繰り返してください。

■ブレーキ調整

* ブレーキの利き強い・弱い)はハンドル部分にあるネジでワイヤー張りの調整ができます



1. ナットを緩める

2. ネジを回転させる
ネジを上にあげる = (ブレーキ力が弱まる)
ネジを下にさげる = (ブレーキ力が強まる)

■メンテナンス

【オイルの点検】 **※必ずフォークを一番下に降ろした位置で点検作業をしてください**

- ジャッキ部の作動油の量は 6 ヶ月に一度点検してください。
- 不足している場合は補充してください。(総オイル量 260ml、注入オイルを 50-100ml 追加します)
(ISO VG32 オイル全要領 0.4 リットル)

【日常点検】

- ハンドパレットを使う前に外観を目視で点検してください。
- オイル漏れや車輪の状態・コントロールレバー・ブレーキレバー・フォークの曲がり・溶接箇所の亀裂またははがれなどが無い点検してください。
- 異常が有る場合は使用を中止して修理した上でお使いください。

【給油】

- ハンドパレットは1ヶ月に一度は給油してください。
- 車輪のベアリング・コントロールレバー・フォークの可動部などに給油します。
- 本体が水に濡れたり汚れた時は布で拭き取って水分や汚れを取り除いてきれいにして保管してください。